



# Leonard's Malasada Story

1952年の創業時から愛され続けるレナースのマラサダ。  
2代目オーナーのレナード（レニー）に受け継がれ、  
2008年には日本進出も果たした。  
今回はレナースのマラサダ物語を「いただきます」。

「レナース」マラサダ物語

to by

3-6  
90





# history



ポルトガルから  
海を渡ってハワイへ  
先代がカパフルに  
第一号店オープン

1882年、初代レナードの祖父がイギリスの船「モナーク」に乗ってポルトガルはサン・ミゲール島から海を越えて遙か彼方のハワイ諸島マウイ島へやってきた。当時の「ベターライフ(今よりもいい暮らし)」を夢見て、一大産業であったサトウキビ産業の開拓者としてやってきたレナードの祖父ファミリー。

それから33年後に、孫のレナードが生まれ、成長したレナードと妻のマーガレット、長女のダイアン(当時8歳)ファミリーがオアフ島ホノルルへやってきたのは第二次世界大戦直後の1946年。当時、「スノーフレック・ベーカリー」というベーカリーで働き出した先代は、「自分の店を持ちたい」ということで、1952年7月1日に現在の「オノ・ハワイアンフード」が位置する場所に、「レナード・ベーカリー」第一号店をオープンさせる。レナードもマーガレットも、寝る間を惜し





“一日にマラサダが何個売れるかって？ 数えると数字が気になるから、数えないようにしているんだ”



## 日本とハワイの架け橋に マラサダが結ぶ強い絆



そんなある日、レニーのもとに日本からコンタクトが入る。木下義彬氏が、日本でレナーズのマラサダ店をオープンさせたという。レニーは全面サポートを決定し、日本へ飛んで従業員たちにマラサダづくりを伝授。日本のコストコで材料を探し回り、不慣れた機材による失敗作を繰り返し、ある時は400個もの試作品が余って道行く人へ配り回るなど、7日間ぶっ続けでマラサダづくりを明け暮れた。そんな努力の甲斐あって、2008年12月にレナーズ・ペーカリー横浜店がオープン。日本店のオープンと同時にハワイの本店にツアーバスが止まり行列ができるなど、その人気は止まることを知らない。「コ

コのお客さんには行列をなんとかするようにお願いされているんだ」と、うれしい悲鳴も聞かれるほど。

3児の父でもあるレニーは「自分がいくつになっても子どもだから、子育てを通じて自身を学んでいるよ。彼らのいいお手本になるよう、しっかりと自覚していきたいと思っっている。子どもがいるって、生きていくことに目的を与えてくれるよね」。長男のレナードJrと長女のティアナ、次男のペイベル。長男はすでにマラサダづくりはお手のもの。今後の展開を聞くのと、「とにかく毎日、自分の幸運さに感謝しているだけ」と、レニーはハンプル謙虚にしめくくった。

### レナーズのマラサダがおいしい理由

1. カラダにやさしい素材だけでできている！
2. ハワイで57年の歴史を持つ名店の味！
3. どんなに物価が上がっても、レナーズのマラサダは価格もおいしさもそのまま！



Leonard's Bakery  
933 Kapahulu Ave., Honolulu, HI 96816  
(808) 737-5591  
6:00~21:00 (金・土曜~22:00)





## 沖縄の職人に学ぶ マラサダづくりと ビジネス展開が 広がっていく80年代

二代目レナード(レニー)は当時、学生生活のかたわら、ポートを運転できるということで人気番組「ハワイ・ファイブ・オー」に出演するなど、若き日々を謳歌していた。両親である先代レナードとマーガレットは、次男であるレニーにペーカリーを継がせるつもりはなく、

んで働き続ける日々。そんなある日、先代レナードの母が「ポルトガルの伝統であるシユローブ・チユーズデイに習って、火曜にマラサダを売り出して見たら？」というアイデアを提案したところ、これが大ヒット。こうして、ハワイの人気菓子マラサダ誕生に。1957年2月12日に、現在のレナースが位置する933カパフル通りへ移転。

レニー自身も弁護士を目指して勉学に励む日々であったが、大学の試験に合格するも悩んだ末に、父の店「レナース・ペーカリー」の経営を担う決断をする。マラサダづくりは父から教わることはなく、沖縄からやってきた職人のヨシ、ノブ、タケヨシたちに15、16歳当時に習いはじめたレニー。その後、カーニバルでマラサダ・ワゴンを出店、またマラサダのキャラクターを続々と生み出すなど、レナースのビジネス展開を広げていく。20年前には「マラサダ・デーを忘れずに」というスローガンをテレビで流して脚光を浴び、全米放送のフードネットワークは4度の取材放映、サムチョイ氏も番組で取り上げるなどレナース・ペーカリーは不動の人気に。マラサダ販売をはじめライバル店が出来るまでに知名度が上がっていく。

1980年に先代レナードが亡くなってからは、レニーが本格的に店を切り盛り。2001年にはワイケレにマラサダ・ワゴンを出店。

